

Université René Descartes – Paris 5

Enseignement théorique Nutrition, Santé publique

Université Louis Pasteur Strasbourg

DCEM 2 - MODULE 07A - MALADIES TRANSMISSIBLES

9h de cours magistraux, - 7h de séminaires (2 séances de 3 x 3h30)

40h de T.D. (20 séances de 2h de TD) pour 4 groupes d'étudiants.

2h de préparation à la lecture critique d'articles (pour 4 groupes)

SEMINAIRES les deux séminaires d'une demi-journée (3h30)

TRAVAUX DIRIGES Le programme restant sera enseigné sous la forme de 20 séances de 2h TD (dont 18 seront notées) pour 4 groupes d'étudiant(e)s .

Université de Nice Faculté de Médecine de Nice Sophia-Antipole

Épidémiologie et biostatistiques, Nutrition, Bio. Statistique

Enseignements théoriques et 30% enseignements dirigés + pratiques

Université Claude Bernard – Lyon 1 Grange -Blanche

PCEM 2 Biostatistiques ED 20h, , Economie de la santé CM 12h, Epidémiologie ED 16h, Stages à l'étranger

La mobilité étudiante dès le DCEM 1 est fortement encouragée. Les responsables des Relations Internationales de la Faculté sont le Professeur O. CLARIS (Néonatalogie) et le Docteur TIMOUR (Pharmacologie)

Par ailleurs le Service des Relations Internationales de l'Université, Fédération Santé (Domaine Rockefeller – 69373 LYON CEDEX 08) organise des stages durant l'été ou d'une année d'études complète pour les étudiants dès la 3e année d'études. Modalités du stage à l'étranger pour les DCEM 2, DCEM 3, DCEM 4

Université de Rouen

DCEM 3 Santé publique, Médecine du travail, Nutrition Cours magistraux

Université de Rennes

PCEM 1 BIostatistiques CM 30h TD 15h

PCEM 2 SCIENCE SOCIALE et SANTE CM 2h TD 10h

DCEM 2 Module : santé publique enseignement théorique

des séances d'apprentissage par problème (APP) et d'apprentissage au raisonnement clinique (ARC) en petits groupes d'étudiants.

Universités de Grenoble Joseph Fourier

PCEM 2 Glandes endocrines, nutrition 43h(TD) 40h(APP)

DCEM 1 Santé publique 10h(CM)

Université Paris, Val de Marne

PCEM 1 Biostatistique cours

DCEM 2 Santé et environnement-Maladies transmissibles

cours, conférences ou enseignements dirigés(80h)

Universités d'Auvergne Clermont-Ferrand

PCEM 1 Santé publique (CM 20h)

Université de Bordeaux II (3 facultés médicales)

Cycle 1 Les enseignements sont répartis en cours magistraux (CM), travaux pratiques (TP) et enseignements dirigés (ED).

PCEM 1, 2 Module de Sciences humaines et sociales :

Santé publique : Bases du raisonnement – Grands problèmes - Epidémiologie - Statistiques.

(CM 12h)

Université de Marseille Faculté de Médecine

PCEM 1 Biostatistiques (ED + TP 30h)

オーストラリアの医学部教育（医師養成コース）カリキュラム
における社会医学教育

オーストラリアの医学部教育（医師養成コース）カリキュラムにおける 社会医学教育

(1) 調査方法

調査対象は豪州・ニュージーランド医学部認定機関 Australian Medical Council¹(以下 AMC)から既に認定を受けている豪州全 12 大学と現在認定審査中で 2005 年 1 月開講予定をしている豪州 3 大学の合計 15 大学の医学部とした。15 大学リストは表 1 参照。調査方法とは、個別大学ウェブサイト情報を軸に、大学カタログ、医学関連機関ウェブサイトや文献情報²を参考にしながら、各大学のカリキュラムに関する情報を収集し、分析を行った。以下にオーストラリアの医学部教育（医師養成コース）における社会医学教育の概要をまとめる。

(2) 入学要件

オーストラリアでは現在二通りの医学部入学方法（Bachelors of Medicine, Bachelor of Surgery、以下 MBBS、または Bachelor's of Medicine 以下 BMed 取得法）がある。1 つは伝統的な学部生としての入学（undergraduate entry）で、2004 年現在 12 校中 8 校で実施されている³。もう 1 つの方法は学部卒業後の入学（graduate entry）で、1990 年代後半、まずは Flinders University（1996）、ついで The University of Sydney と The University of Queensland（1997）で実施されるようになった。2004 年現在では 12 校中 5 校で実施されている。尚、The University of Melbourne では学部入学と学士号取得後入学の両方を実施している⁴。2005 年開講予定校では、学部入学は 1 校、学部卒入学は 2 校となっている。

¹ 1984 年 Australian Health Ministries によって設立。Medical School 認定だけでなく、医学部カリキュラム設定にも大きな影響力をもつ。AMC のウェブサイトは <http://www.amc.org.au/>。また The University of Tasmania, Medical Education Unit からのリンク、http://www.healthsci.utas.edu.au/medicine/meu/data_files/ で AMC (2002). Assessment and Accreditation of Medical Schools: standards and procedures というドキュメントを閲覧することが可能（注：AMC サイトで同ドキュメントは有料扱いとなっており無料での閲覧不可）。

² 具体例は Committee of Deans of Australian Medical Schools <http://www.cdams.org.au/>、The Medical Journal of Australia (eMJA) <http://www.mja.com.au/>など。

³ The University of Queensland の学部入学は「条件付 (Conditional)」となっており、学生は医学コース開始前にまずは学士号をとることが義務づけられている。

⁴ The University of Queensland, The University of Sydney, Flinders University でも学部卒開始前は学部入学としてのプログラムが存在していた。The University of Western Australia では、現在の学部入学プログラムに加え、2005 年からは学部卒プログラムも予定している。

入学方法が2通りあることに伴い入学要件も大きくわけて2種類あるが、一般的に年齢要件に関しては特に定められていない。学部コースを設置している大多数の大学入学要件は、1) 大学入学進学に必要な公的試験・証書 (Senior Secondary Certificate of Education、州ごとに決められた高校最終学年時のアカデミック評価基準で Tertiary Entrance Rank またはそれに相当するもの)、2) 医学部へ学部入学する際に必要となる UMAT (Undergraduate Medicine and Health Sciences Admission Test)の成績、3) 面接、である。日本に見られる大学毎に用意された試験というのは存在しない。学部卒入学で必要となるのは、1) 学士号・成績 (Bachelor's degree/GPA) , 2) 米国の MCAT に相当する GAMSAT (the Graduate Australian Medical School Admission Test)、3) 面接、となっている。

その他、大学により外国人入学希望者、高校卒業をしていない学部入学希望者などには、上記と匹敵するような別の入学基準が設けられている。また多数の大学で、アボリジニ学生、医学部卒業後、医師不足地方 (農村地区や遠隔地域) に行くことを希望する学生などには入学規定に優遇した処置がとられている。

表 1: 豪州医学部設置大学全リスト

注: 省略形 (例: UG,GE,MBBS など) については表末を参照

大学	入学方法(学部入学 UG, 学部卒入学 GE)/ 期間/ 取得学位	医学部開講年()内 現カリキュラム関連情報
学部入学 UNDERGRADUATE ENTRY (アルファベット順)		
<u>James Cook University</u>	UG, 6 yrs, MBBS	(2000) 2000 年医学部新設。
<u>Monash University</u>	UG, 5 yrs, MBBS	(1961) 2002 年、プログラムが 6 年から 5 年へと変更。それに伴いカリキュラムも大きく変更。
<u>The University of Adelaide</u>	UG, 6 yrs, MBBS	(1885) 2000 年に新カリキュラムスタート。
<u>The University of Newcastle</u>	UG, 5 yrs, BMed	(1978) 2005 年に新カリキュラムスタート予定。
<u>The University of New South Wales</u>	UG, 6 yrs, MBBS	(1961) 2004 年に新カリキュラムスタート。
<u>The University of Tasmania</u>	UG, 6yrs (as of 2004), MBBS	(1965) 2006 年、プログラムが 6 年から 5 年へと変更予定。それに伴いカリキュラムも大きく変更予定。
<u>The University of Western Australia</u>	UG, 6 yrs, MBBS GE 4.5 yrs MBBS (starts in 2005)*	(1957) 新カリキュラム(UG)2000 -2002 にかけて導入。

		*2005年には従来のUGに加え、4.5年間のGEプログラムもスタート予定。
学部卒入学 GRADUATE ENTRY (アルファベット順)		
<u>Flinders University</u>	GE, 4 yrs, MBBS	(1975) GEを1996年にスタート。
<u>The Australian National University</u>	GE, 4 yrs, MBBS	(2004) 2004年に医学部新設・開講。
<u>The University of Queensland</u>	(Year 12 conditional entry)** GE 4 yrs, MBBS	(1936) GEを1997年にスタート **「year 12 conditional entry」: 高校最終学年で医学部への入学が認められた場合、学士号をまず取得してから医学部コース進学という条件つき。
<u>The University of Sydney</u>	GE, 4 yrs, MBBS	(1883) GEを1997年にスタート。
学部入学 UNDERGRADUATE ENTRY/学部卒入学 GRADUATE ENTRY		
<u>The University of Melbourne</u>	MBBS, BMedSc. for UG 6 yrs MBBS for GE, 4.5 yrs	(1862). 従来のUGに加え、GEも2000からスタート。
2005年開講予定校: 2004年現在 AMC 認定審査中 (アルファベット順)		
<u>Bond University</u>	UG, 5 yrs, MBBS	(2005)2005年医学部新設・開講予定。
<u>Griffith University</u>	GE, 4 yrs, MBBS	(2005)2005年医学部新設・開講予定。
<u>The University of Notre Dame</u>	GE, 4 yrs, MBBS	(2005)2005年医学部新設・開講予定。
省略形: MBBS: Bachelor of Medicine and Bachelor of Surgery BMed: Bachelor of Medicine BMedSc: Bachelor of Medical Science GE: Graduate Entry UG: Undergraduate Entry		

(3) 医学教育における社会医学教育

ここ数年間、豪州大学の医学部は著しい変換を遂げている。その一番顕著なものが、1990年後半、従来の学部入学に加え、学部卒医学部コースがスタートしたことである。各大学の医学部教育ビジョン・目標は、医学部認定機関 AMC の影響を受けてか、いずれの大学も類似したものとなっている。しかし、AMC が多様性を支持している為、プログラム期間、

カリキュラム、コース構成など「教育理念・指針」をどのようにプログラム構成に反映させるかという点については多種多様である。以下に、まず医学教育システムの概要を記し、さらに社会医学教育の位置づけの要約を示した。

医学コース（学部卒入学・学部入学）改革背景

従来、豪州大学医学部コースはアカデミック重視の英国伝統的学部入学医学部コースをモデルとしてきた。しかし 1970 年代から、学科別専門知識、中でも科学的知見ばかりを重要視し、医師としての技能や人間的資質、問題解決力やコミュニケーション能力をはぐくむ点が乏しいカリキュラムは、国内だけでなく米国、英国、カナダ、また世界規模の権威ある組織からも疑問視されるようになってきた。そのような中、1978 年に The University of Newcastle が、高校卒業時のアカデミック成績（Tertiary Entrance Score）のみにとらわれない入学規定を設定し、早期からの臨床経験、PBL を重視した学部入学 5 年医学部プログラムを新設スタートした。その後、同大学卒業生が他大学の生徒と匹敵する能力を持っていることも明らかになってきた。The University of Sydney や Flinders University, The University of Queensland ではカリキュラムの改革にむけ、著名な米国・英国大学医学部を視察。「医学部コース終了時、医師としてのスタートラインに立つ際、どのような資質・技能を持つ人材を生み出していけば良いのか」という原点にたった議論から始まり、アカデミックな成績や知識以上に豊富な臨床経験、社会心理学的視野やコミュニケーション力、自分で考える力などを培う PBL を用いた総合型カリキュラムの重要性を確信した。これらの大学では、カリキュラムの見直しに伴い、高卒若年層を主な対象としたアカデミックな成績を重要視して学生をふるいわけする医学部入学規定も再検討することとなった。その結果、人間的にも成熟し、社会的常識、自分の進路などにも明確な意識を持つことの出来る学部卒入学を発足させた。伝統のある The University of Sydney（1883 年開講）が PBL を中心とした学部卒入学カリキュラムを実施したのは画期的なイベントであったといえる。今後の流れとしては、AMC が医学部コースの多様性を支持していること、また「早くから自分のキャリアに明確なビジョンを持つ学生」を対象とした学部入学医学部コースも必要と考えられていることから、豪州では当面 2 通りの入学方法による医学部コースが提供されることと考えられる。

医学コース期間

学部入学の場合、6 年プログラムが主流であったが、1978 年 The University of Newcastle が 5 年プログラムを開講したのをきっかけに、2000 年には Monash University が 5 年プログラムに、また 2006 年には The University of Tasmania も 5 年プログラムへと移行する。2005 年学部入学医学部新設予定 Bond University でも 5 年プログラムを予定している。学部卒医学コースでは、The University of Melbourne の 4.5 年をのぞくと 4 年間となっている。しかし、2005 年から The University of Melbourne と同様に、学部入学に加え学部卒

入学コース設置も予定している。The University of Western Australia 学部卒プログラムでも 4.5 年を予定している。

医学コース (MBBS 取得) 卒業・終了後

豪州では全大学医学部最終学年生に共通する「医師になるための卒業試験／国家試験」にあたるものは存在しない。学生は AMC 認定各 MBBS コース⁵(アメリカの大学の MD に相当するプログラム)終了後、大学付属病院 (Teaching Hospital) などの医療現場で最低 1 年インターンとしての経験を積むことにより、医者 (medical practitioner) としての最低限の登録 (medical registration) が可能となる。その後、専門分野での訓練を受けるなどの選択が広がってくる。

カリキュラム全体

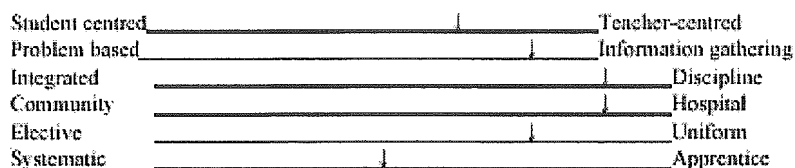
入学方法やプログラム期間の転換と並行して、カリキュラムも現在改革が行われている最中であり、各大学によって多種多様なものになっている。その中で共通する点は 1) 伝統的な学科別 (discipline base) カリキュラムが、テーマを軸とする総合型・分野横断的 (integrated/interdisciplinary curriculum) になってきたこと⁶、2) プログラム早期 (James Cook University, The University of New South Wales, Flinders University などでは入学後第 1 週目) からの臨床経験 が重要視されてきていること、3) PBL・8 人程度の小グループ活動、SDL (self directed learning) が教育方法として注目を浴び、知識集約型・アカデミック重視・教室内レクチャー (didactic instruction) が急減していることである。ただ臨床経験重視とはいうものの、いずれの大学でもプログラム前半は臨床準備教育、プログラム後半は臨床教育に重点をおいていることは共通する。また近年の動向としては、PBL 実施法の一手段として、またメインキャンパス、大学付属病院から離れた地域での実習・臨床教育の増加に伴うコミュニケーション・インストラクション方法の 1 つとして、IT の活用も非常に重要視されてきている。

尚、カリキュラム改革の傾向を顕著に反映した例が、The University of Tasmania(2003) の 2006 年新プログラム実施に向け用意された「New Curriculum Preliminary Report」内に図表でわかりやすくまとめられていたので、一例として参考までに抜粋する。

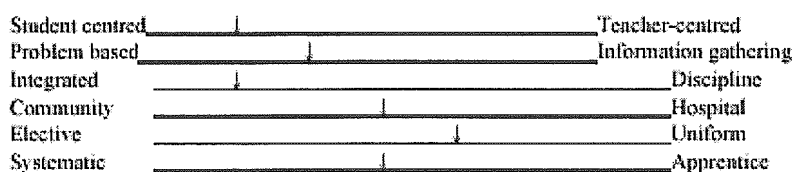
⁵ The University of Newcastle では BMed (Bachelor of Medicine) プログラム。

⁶ 全 15 校中、13 校でテーマが使用されていること明らかになっている。James Cook University では総合型カリキュラムを導入しているが、テーマなどは設置していない。また 2005 年に医学部開設を予定している The University of Notre Dame でも総合型カリキュラムとはしてあるが、現時点でカリキュラムに関する詳細は公開されておらず「テーマ」についても何も記載されていない。

Curriculum profile for the current course



Given our commitment to rural situated learning, learner-centred teaching and learning, integration, research and flexible delivery (see Mission Statement) the curriculum profile of the new course will differ substantially from the existing course profile.



The University of Tasmania

旧プログラム（上段）と2006年新プログラム（下段）プロフィール

社会医学の位置づけ

現在農村・遠隔地域の医者不足の深刻化、先住民（アボリジニ）に対する理解促進強化が進む中、社会医学教育が重要視されている。その傾向は、近年開講または2005年新設予定大学のミッション・ステートメントなどに強く反映されている。例えば James Cook University（2000年開講）では農村、遠隔地域特有の医療問題や熱帯医学の専門性を自校卒業生の特徴としてあげている。The Australian National University（2004年開講）では、定められている3つのミッションの1つが、「オーストラリアの農村地帯、また発展途上国の人々の健康・衛生状況向上の為に必要な理解の促進」となっている。The University of Notre Dame（2005年開講予定）でも「農村地帯や過疎地域などを主とした医者不足地域に医者を供給する」ことを医学部教育目標として掲げている。社会医学教育の重要性をあげるのは新設校だけに限らず、多数の大学で「community」「social sensitivity/needs」などというキーワードが教育指針にあがってきているが、力の入れ具合は大学によってばらつきがあるようだ。

医学部カリキュラム内での社会医学関連科目の位置づけとしては、コース前半（臨床教育準備中心期間）では、総合型プログラムの促進が進む中、「社会医学」も単一科目としてとりあげられるのではなく、通常、総合型プログラムの一環として紹介されているケースが多くなってきている。またプログラム後半の臨床教育では農村地域などへの付属病院や general practice クリニックへ学生を配置することで現場での用途・応用法などへの理解促進に努めたカリキュラムをとりいれている大学が多い。

(4) 必修となっている社会医学関連科目

現時点で入手できた情報から、全 15 校中、14 校で社会医学関連科目は必須になっていることがわかる⁷。そのうち、James Cook University 以外の 13 校で「テーマ」を軸とした医学部コースを展開しており、通常 3~4 設置されている医学部プログラム主要テーマの 1 つが、社会医学関連となっている⁸。(例：The University of Tasmania では Community Health and Disease、The University of Newcastle では Public Health など)。各大学が謳うテーマ一覧は表 2 参照。またテーマを軸とするカリキュラム実施にともない、大多数の大学で伝統的な「科目別」教授法を廃止して主要テーマをプログラム全体に織り込んだ総合型カリキュラムへと変換したことから、単一の社会医学科目コースというのは大変限定されている⁹。以下にプログラム前半・後半の必修社会医学関連科目についてまとめた。

プログラム前半

臨床教育準備期間（プログラム前半）に、社会医学関連科目を含むテーマ、または学科がどのようなコース構成として実際反映されているかについては、個々の大学によりばらつきが出てくる。以下に幾つかの例をあげる。

- ▶ 総合型カリキュラム構成の中、「導入コース」として他主要テーマと一緒に紹介される場合

例：The University of Melbourne の「Health Practice I, II, III」

- ▶ 総合型カリキュラム・ブロック構成内*でとりあつかわれる場合

例：Monash University, The Australian National University, University of Queensland University of Sydney

* The University of Sydney のブロック例は以下の通り。Block 1: Introduction Lifespan & Life Style, Block 2: Musculoskeletal, Block 3: Haematology, Block 4: Cardiovascular, Block 5: Respiratory, Block 6: Endocrine, Nutrition, Gastroenterological, Block 8: Renal, Reproduction, Sexual Health, Block 9: Cancer Palliation)。

- ▶ テーマがそのままコースタイトル名になっている場合

例：Flinders University の「Doctor, Profession and Society 1,2,3」

The University of New South Wales の「Society and Health I, II, III」

⁷ 2005 年開講予定 The University of Notre Dame ではカリキュラムに関する情報が 2004 年 3 月時点では十分に公開されていないので、必修となっていると断定不可である。しかし医学部の最重要ミッションとして「医者不足である過疎地帯や農村地域に医者をおくること」としてあるので、必然的に社会医学関連科目が必須となってくると推測される。

⁸ The University of Tasmania の 2006 年スタート予定の新プログラムでは 5 つのテーマを設置。

⁹ テーマという語彙のかわりに The University of New South Wales, The University of Newcastle, The University of Queensland では domain とよばれ、The University of Adelaide では「Theme」または「Stream」とよんでいる。

The University of Adelaide の「Medical Professional and Development (1103A/B,2103A/B,3103 A/B)」

▶ 幾つかの関連テーマをまとめたコースになっている場合

The University of Western Australia では「Foundation of Clinical Practice 111・112・211・212・311・312」として、社会医学関連テーマ (Doctor, Health and Society) ともう 1 つのテーマ(Doctor and patient and Personal development)を同じコース内で紹介。

▶ テーマを使用していない場合 (James Cook University のみ)

James Cook University で必須となっている社会医学関連クラスは以下の通り。

1年：Health in Practice; Gastrointestinal Medicine and Nutrition.

2年：Rural, Remote, Indigenous and Tropical Health; Human Development and Behavior.

3年：Infection, Inflammation and Immunity; Preventive Medicine and Addiction Studies; Infectious Diseases; International Health.

プログラム後半

プログラム後半「臨床教育」が中心になってくると、「general practice」や「psychiatry (Flinders University では Mental Health)」が臨床教育ローテーションの中に組み込まれていることが数校の公開カリキュラム情報から伺える (例：The University of Adelaide、The University of Newcastle、Flinders University、The University of Western Australia など)。The University of Western Australia (6年間プログラム) では、5年時点でも「Public Health」というタイトルの必修コースが存在している。

表 2：各大学プログラム主要テーマ一覧表

大学	テーマ					
	数	1	2	3	4	5
学部入学プログラム (UNDERGRADUATE PROGRAM) アルファベット順						
James Cook University		テーマ設定はないが、数多くの必須社会学コースが設置されている。コース名称は以下の通り: Health in Practice; Gastrointestinal Medicine and Nutrition; Rural, Remote, Indigenous and Tropical Health; Human Development and Behavior, Infection, Inflammation and Immunity, Preventive Medicine and Addiction Studies; Infectious Diseases; International Health.				

<u>Monash University</u>	4	Personal and Professional Development	Society, Population, Health and Illness	Foundation of Medicine	Clinical Skills	
<u>The University of Adelaide</u>	3**	Scientific Basis of Medicine	Medical and Professional Development	Clinical Skills		
<u>The University of Newcastle</u>	3*	Professional Skills	Public Health	Identification, Prevention and Management of illness		
<u>The University of New South Wales</u>	4*	Society and Health	Beginning, Growth and Development	Health Maintenance	Ageing and Endings	
<u>The University of Tasmania</u> ¹⁰	5***	Human Health and Disease	Communication and Collaboration	Community Health and Disease	Personal and Professional Development	Integration
<u>The University of Western Australia</u>	4	Scientific basis of Medicine	Doctor and Patient	Doctor, Health and Society	Personal and Professional Development.	

学部卒入学プログラム (GRADUATE ENTRY) アルファベット順

<u>The Australian National University</u>	4	Medical Sciences	Clinical Skills	Population Health	Personal and Professional Development	
<u>Flinders University</u>	3	Doctor and Patient	Knowledge of Health and Illness	Doctor, Profession and Society		
<u>The University of Sydney</u>	4	Basic and Clinical Science	The Patient and Doctor	The Community and Doctor	Personal and Professional Development	
<u>The University of Queensland</u>	4	Basic and Clinical Sciences	Interpersonal and Clinical skills, Clinical Reasoning and Practice	Population and Preventive Health	Ethics, Personal and Professional Development.	

学部入学/学部卒入学プログラム (UNDERGRADUATE/GRADUATE ENTRY)

¹⁰ The University of Tasmania では 2006 年よりテーマ別カリキュラムを導入予定。

<u>The University of Melbourne</u>	4	The Scientific Basis of Medicine	Population Health	Clinical Skills	Professional Attitudes and Development	
2005 年開講予定校 (アルファベット順)						
<u>Bond University</u>	4	Scientific Basis of Medicine	Clinical Skills	Health and Society	Personal and Professional Development	
<u>Griffith University</u>	3	The Doctor and Patient	The Doctor and Knowledge of Health and Illness	The Doctor, Profession and Society		
<u>The University of Notre Dame</u>	N/A(現時点で情報が不十分なため、断定できない)。					

* The University of New South Wales, The University of New Castle, The University of Queensland では theme とよばずに domain と呼ぶ。

** The University of Adelaide では theme と呼んだり spiral stream と呼んだりしている。

*** The University of Tasmania 現プログラムでは theme を使用していないが、2006 年導入予定 5 年間新プログラムでは theme を軸としたプログラムを実施予定である。

(5) 選択となっている社会医学関連科目

各大学とも「選択」単位は設置してあるが、選択科目に関する詳細情報を公開している大学はみられなかった。一般概略として、学部入学プログラムのコース前半での選択科目は、大学内他学部を含む広い範囲での選択を奨励している（例：James Cook University, University of Adelaide, University of New South Wales）。また選択が医学部関連コースに限られている場合にも、「広い範囲にわたる選択である」と大半の大学で明記されている。その他、プログラム後半になると臨床経験かつインディペンデント・スタディ要素が強い選択コースが多く大学のみにみられ、大半の大学では大学付属病院以外に、農村・遠隔地を含む国内他地域や海外の病院、クリニック、コミュニティ・ヘルス・センターなどでの臨床経験も奨励しているのが特徴である。（例：Flinders University や The University of Sydney）。従って、大半の大学で、学生が各種社会医学関連科目を選択希望した場合、国際医療保健衛生関連までも含んだ広い選択が可能であることが伺える。

(6) 社会医学関連提供科目シラバス

総合型コースが多い中、「社会医学関連」単一クラスのシラバスというのは非常に限定され

ている。しかし James Cook University と The University of Notre Dame 以外の全ての大学でプログラムの要となるテーマの1つに社会医学関連が挙がっており、そこから社会医学関連科目のトピック守備範囲や教育目標などがわかる。頻繁にあげられているトピックは、公衆・保健衛生、予防医学、豪州医療システム、健康促進活動、また医学・医療の課題を社会的・文化的、経済的、政治的、法的観点からもとらえ、医療格差や一定グループの人々に生じる問題、またそこから更にトピックを発展させて人権問題や国際医療現場の問題なども勉強する。その他、社会医学関連科目の勉強を通じて、調査方法論（データ収集法）や文献レビューレポートなどを書くアカデミックなスキルも学ぶケースが多いようである。

また学部入学6年間プログラム提供 University of Western Australia では、コース前半（1年～3年）は「Foundations of Clinical Practice」として、社会医学関連テーマを他テーマと共に紹介しているが、プログラム後半でも、「Psychiatry」（4年生）、「Public Health」（5年生）、「Rural General Practice」（6年生）、「Psychiatry」（6年生）といった社会医学関連科目単一名称がついたクラスが必須となっていた。これら全てのシラバスは同大学ウェブサイトで公開されており、医学部コース後半における社会医学関連科目の具体的なクラス内容を垣間見ることが出来る貴重な情報源であった。例えば、「Public Health（5年生）」では、学生は社会医学関連のプロジェクト（例：調査プロジェクト、文献レビュー）を Department of Public Health の教官と話しあいながら実施すること、その他、1週間にわたる臨床疫学セミナーに参加することなどが、課題として明記されている。また「Rural General Practice（6年生）」シラバスからは、学生が医者不足の農村地帯や遠隔地域で、医師としての役割、必要とされる技術とノウハウ、またそれぞれの地域にあった一般診療法について学ぶことの重要性を読みとることが出来る。具体的には、アボリジニ（豪州先住民族）へのヘルスケア、その他遠隔地でおきた緊急時の対応などである。実施方法としては、2日のオリエンテーション後、22日間にわたる遠隔地域や農村地帯における各種実施トレーニングとなっている。

尚、コース後半「臨床教育」ローテーション中に、General Practice が含まれているのは、The University of Western Australia だけに限らず、多数の大学で含まれている。例えば、Flinders University でも、最終学年（4年生）に、General Practice が必須となっており、2週間（都会、従来のレクチャー方式中心）、2週間（遠隔地・農村地帯、PBL, SDL(self directed learning)中心)、計4週間で構成されていることが明らかになっている。しかし、一般的に臨床教育カリキュラムのシラバス詳細は公開されていない。

以下に各医学部の社会医学関連テーマ下の教育目標、トピック守備範囲などを参考までにまとめた。

表 3 : 各大学社会医学関連テーマ内容・教育目標

大学名	社会医学関連テーマ(教育目標やトピック守備範囲など)
学部入学(UNDERGRADUATE ENTRY)	
<u>James Cook University</u>	テーマ設定なし。
<u>Monash University</u>	<p>Theme: Society, Population, Health and Illness</p> <p>Provides the structure to develop student' abilities in dealing with broader society and population issues. Students will consider the social, environmental and behavioral contexts of illness and the practice of medicine, including an emphasis on rural and remote Australia. Other elements of this theme will be built around health promotion, epidemiology, public health, community diversity, population and global health, and a range of other societal issues. The history and philosophy of the scientific approach to medicine will also be included, extending this to approaches to knowledge and information, and an understanding of evidence-based medicine.</p>
<u>The University of Adelaide</u>	<p>Theme: Medical and Professional Development</p> <p>Approaches to the practice of Medicine, Patient and Professional Communication, Research, Evidence Based Medicine, Ethics, Health Informatics, Information Technology, Public Health, Medical-Legal Issues</p>
<u>The University of Newcastle</u>	<p>Theme: Public Health</p> <p>The focus of domain Public health is on gaining an understanding of public health issues related to investigation, management and prevention of health problems in groups and communities, as well as an insight into research methodology and a critical appreciation of the medical literature, with and emphasis on evidence-based practice</p>
<u>The University of New South</u>	Domain: Society and Health
<u>Wales</u>	Major Themes: Society, culture and genes, Socioeconomic determinants of health, Health delivery systems, Health and human rights
<u>The University of Tasmania</u>	Theme: Community Health and Disease

<p>This theme based new curriculum start in 2006</p>	<p>Focuses on the role of the medical practitioner in community health care delivery.</p> <p>Outcomes:</p> <p>Understands the Australian health care system including funding, planning and priorities.</p> <p>Understands the social, political, economic, cultural and spiritual factors that impact upon the health of individuals and communities.</p> <p>Understands the principles involved in the effective utilization of hospital and community based resources and networks.</p> <p>Understands the role of the medical practitioner in health promotion, public health, as well as treatment of disease.</p> <p>Demonstrates an understanding of community based research and education programmes.</p> <p>Understands the special needs of certain communities including access and equity issues.</p> <p>Understands an awareness of the local and global context of healthcare.</p> <p>Understands the differing roles of medical practitioners working in a variety of health care settings.</p>
<p><u>The University of Western Australia</u></p>	<p>Theme: Doctor, Health and Society</p> <p>詳細情報なし</p>
<p>学部卒入学 (GRADUATE ENTRY)</p>	
<p><u>The Australian National University</u></p>	<p>Theme: Population Health (15%)</p> <p>An understanding of:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. The factors that influence differences and changes in health status between and within populations. 2. The interplay between social, economic, environmental and genetic influences on health, and their respective relevance to different levels and strategies of prevention. 3. The roles in disease prevention and alleviation, within a population setting, of public policy, health education, screening and clinical treatment. 4. How medical practice reflects, and encourages with the broader social, cultural, and political context; at local, national and international levels. 5. The importance of the systematic evaluation of health-care delivery modalities, taking account of local community needs and characteristics and seeking effective and equitable outcomes. 6. The tension that can arise between the medical practitioner's responsibility for the individual patient and the health needs of the community at large.
<p><u>Flinders University</u></p>	<p>Theme: Doctor, Profession and Society</p>

	Consideration of health and illness in the wider contexts of family, cultural group, community and political and economic influences in society. A focus on the ethical and legal frameworks for medicine and on personal and interpersonal skills appropriate to lifetime medical practice. (Yr by Yr. topic outline available in Annex).
<u>The University of Queensland</u>	Domain: Population and Preventive Health Recognizes that consideration of population medicine influence the diagnosis, management and prevention of disease. The individual patient has at least some aspect of the disease process or its management or outcome influenced by interactions with, and the resources of, the family and the community. When the health of whole populations is considered, a wider set of considerations appear than those relevant to the individual patient, and must integrated into all medical problems.
<u>The University of Sydney</u>	Theme: The Community and Doctor (25%) 1. understanding of the factors which influence the health of the population and the respective roles of the promotion of health, the prevention of illness, and the treatment of disease. 2. understanding of the legal, social, economic, historical and political context of high quality medical care and to medical research. 3. the ability to identify and analyze health issues of concern to the community and to contribute constructively and rationally to the debate on these issues. 4. a rational approach to resolving the tension between the medical practitioner's responsibility for individual patients and his or her responsibility for individual patients and his or her responsibility for the health care needs of the whole community.
学部入学・学部卒入学 (UNDERGRADUATE / GRADUATE ENTRY)	
<u>The University of Melbourne</u>	Theme: Population Health 詳細情報なし
2005 年開講予定校	
<u>Bond University</u>	Theme: Health and Society 詳細情報なし
<u>Griffith University</u>	Theme: The Doctor, Profession and Society 詳細情報なし
<u>The Univeristy of Notre Dame</u>	Theme: 十分な情報公開なし 詳細情報なし

(7) 社会医学関連提供科目の教育方法

総合型（分野横断的）コースが主流な中、社会医学関連トピック教育法のみを抽出する事は概して困難である。一般的に全てのコースにおいて従来のレクチャー中心・専門的アカデミック知識を重要視するカリキュラムから、自分で判断・考える力を養う PBL、実践を重要視する臨床経験に重点をおいた教育方法へと移行してきた。そして、PBL や臨床経験をより効率的・効果的にする「方法・手段」として、チームワークスキルやコミュニケーション能力を高める小規模グループによるアクティビティ、IT 技術をフルに活用したコンピューターを介した教材・プログラムなどの使用が高まっている。The University of Sydney, The University of Adelaide, The University of Queensland など、多数の学校で IT の活発な活用という点をカリキュラムの特徴として掲げている。例えば The Australian National University や The University of Adelaide などでは、他地域で臨床教育を受けている学生にも同様のカリキュラムなどにアクセス・参加できることを意識して、オンラインのフル活用に力を入れている。結果、PBL、実践などの教育方法をサポートする形として従来の「講義」は用いられていると考えられる。これは AMC が、「Teaching」から「Learning」へと移行する教育方法を推進していることの結果であるともいえる。主流となってきた PBL がコース内で実際にどのように用いられているかの具体的サンプル（ケース・スタディ：Mr. Sarich's chest pain）、また PBL セッションにおける教員の心構えなどが The University of Sydney サイトに掲載されていた。

また社会医学に限定すると、多数の大学で農村地域、遠隔地域での臨床経験、先住民の健康課題などへの実践的取り組みを積極的に勧めている。例えば Monash University では、最低 12 週間農村地帯での実習経験が義務付けられている。それらの地域とメインキャンパスをつなぐ手段としても IT を通じた教材、教育は非常に役立っている。また実践的訓練だけでなく、社会医学関連テーマコースでは「調査方法論」、「文献レビュー」、「データ収集方法」などのアカデミックな課題も多々課せられているようであり、PBL を導入しながらも従来のアカデミックな知識・方法論の習得にも重点をおいているように見受けられた。

米国医学部が提供する複数学位プログラムと
複数学位取得者のキャリア選択

**米国医学部が提供する複数学位プログラムと
複数学位取得者のキャリア選択**

The Association of American Medical College (AAMC) は 1974 年から医学分野の Dual-Degree プログラム (MD/MPH、MD/MBA、MD/JD など) を卒業した医学生データを収集している。これによると、1990 年代以降、Dual-Degree を取得して卒業する医学生が増加している。1990-91 年度には 6 人であったのが、1995-96 年度には 79 人、2000-01 年度には 163 人となった (AMMC の Dual-Degree に関する報告書より)。この Dual-Degree プログラムのうち、最も早く確立したのは MD/MPH であり、最近では MD/MBA、MD/JD が増加している (Wilkinson, 2001)。さらに、MD/PhD プログラムの内容も多様化しつつある (NRC, 2000)。AAMC の 2004 年 2 月の資料に基づく、各大学における複数学位プログラムの有無と参加学生数を以下に示す。

Year	2003	2003	2003	2003	2003	2003	2003	2003
	Y/N	# enrolled	Y/N	# enrolled	Y/N	# enrolled	Y/N	# enrolled
Programs	MD/PhD		MD/JD		MD/MPH		MD/MBA	
University of Alabama	Yes	60	No	0	Yes	0	No	0
Albany Medical College	Yes	2	No	0	No	0	No	0
U of Arkansas Col of Medicine	Yes	6	No	0	Yes	3	No	0
Baylor College of Medicine	Yes	50	No	0	No	0	Yes	4
Boston U School of Medicine	Yes	78	No	0	Yes	6	Yes	0
Wake Forest Univ School of Med	Yes	6	No	0	No	0	Yes	4
Univ at Buffalo Sch of Med	Yes	4	No	0	Yes	0	Yes	2
UCSF School of Medicine	Yes	57	No	0	Yes	4	No	0
Geffen School of Med-UCLA	Yes	59	No	0	Yes	4	Yes	9
Finch UHS-Chicago Med School	Yes	27	No	0	No	0	No	0
U Chicago-Pritzker Schl of Med	Yes	7	No	0	No	0	No	0
U of Cincinnati College of Med	Yes	44	No	0	No	0	Yes	0
U of Colorado Schl of Medicine	Yes	44	No	0	No	0	Yes	4
Columbia U Coll of Phy & Surg	Yes	0	No	0	Yes	0	Yes	0
Cornell U Weill Medical Coll	Yes	101	No	0	No	0	No	0
Creighton U School of Medicine	Yes	5	No	0	No	0	No	0
Univ of Florida College of Med	Yes	20	Yes	0	Yes	0	Yes	1
Dartmouth Medical School	Yes	20	No	0	Yes	2	Yes	3
Duke U School of Medicine	Yes	67	Yes	5	Yes	19	Yes	11
Albert Einstein Col of Med	Yes	116	No	0	No	0	No	0
Emory Univ School of Medicine	Yes	55	No	0	Yes	9	Yes	3
Georgetown U. School of Med	Yes	22	No	0	No	0	Yes	8
Geo Washington U Schl of Med	Yes	0	No	0	Yes	15	No	0
Medical College of Georgia	Yes	25	No	0	No	0	No	0
Harvard Medical School	Yes	143	Yes	1	Yes	5	Yes	3
Howard U College of Medicine	Yes	11	No	0	No	0	No	0
U of Illinois College of Med	Yes	168	Yes	8	No	0	Yes	4
Indiana U School of Medicine	Yes	45	No	0	Yes	1	Yes	1